



米穀及び雑穀保管倉庫施設新築工事 地鎮祭
～鍬入れを行う 小田島親守組合長～

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興へ向けて、JAグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で71年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えは安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年9月の災害時にも、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に対し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させて頂いたところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に本年4月には、我が国の大農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

また、第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取組むことと致しました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りしながら、協同活動の輪（食と農でつながるサポーター550万人づくり）を広めて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

いまがね TOPICS

米穀・雑穀施設倉庫新築工事 地鎮祭開催



庫は、今金町の基幹作物の米穀と雑穀を保管する倉庫であり米穀で約5万俵超える収容力をもち、また国営事業で生産基盤を強化している中、増えるだろう米穀を受けきる施設を強化する事は必須」と述べました。

完成時期は、来年5月末頃を予定しております。

組合長は挨拶で、「新倉庫は、今金町の基幹作物の米穀と雑穀を保管する倉庫であり米穀で約5万俵超える収容力をもち、また国営事業で生産基盤を強化している中、増えるだろう米穀を受けきる施設を強化する事は必須」と述べました。

地鎮祭には、小田島親守組合長をはじめ、今金町、JA関係機関、JA役職員、工事関係者40名が出席し、工事の安全と無事完成を祈願しました。

承認を得た、米穀及び雑穀保管倉庫施設の新築工事地鎮祭が10月2日に行われました。

5月の臨時総会において

『今金男しゃく』 ホクレン大収穫祭に出品



第47回を迎えたホクレン大収穫祭に、JA今金町から「今金男しゃく」が出品され来場のお客様にご好評を頂きました。このイベントは札幌三越の本館10階で10月16日～21日までの6日間行われ、全国各地から農産品や農産加工品が集まりまさに「大収穫祭」の様相となります。会場は混雑時には身動きがとれなくなるほどの賑わいと熱気があふれています。

年金友の会つどい開催されました



午前の部では、今金町社会福祉協議会の辻紀英局長を迎え、「住民主体による介護予防・支えあい」について、講演を頂きました。午後の部には演歌歌手の日和義貴さん・渡辺亮子さんによる歌謡ショーが行われ、見事な歌声とパフォーマンスで会場は大盛り上がりました。

いまがねTOPICS

ホルスタイン退牧



し関くさ自 がみり係 しそホめ粗 し
た係成れ然預で、積機当 町内の酪農家から良質な
者長、の託き無み関日は 飼料を与え、強健性を高
のし、びでたし退み方々の天候に恵まれ、関
の方々も約ちた牧作業は順調にと進
生産者も満足をはじま放場の
そ う で し め 牧 の

がみり係 しそホめ粗 し
た係成れ然預で、積機当 町内の酪農家から良質な
者長、の託き無み関日は 飼料を与え、強健性を高
のし、びでたし退み方々の天候に恵まれ、関
の方々も約ちた牧作業は順調にと進
生産者も満足をはじま放場の
そ う で し め 牧 の

新嘗祭献穀米献納式



席吉の10け祭が行わられる11月23日に向
月22日に東京都千代田区が向
新嘗祭は天皇陛下が、新嘗祭献穀米献納式が行
本辰也・栄理子さんが出
る動物は、牛、豚、鶏など
が挙げられます。肉牛、乳牛を
念頭に置いて作業安全を考えま
しょう。

畜産は作業上、飼料生産作業、
飼養管理作業に分けられ、対象
とする動物は、牛、豚、鶏など
が挙げられます。肉牛、乳牛を
念頭に置いて作業安全を考えま
しょう。



畜産は作業上、飼料生産作業、
飼養管理作業に分けられ、対象
とする動物は、牛、豚、鶏など
が挙げられます。肉牛、乳牛を
念頭に置いて作業安全を考えま
しょう。

畜産作業の安全

人間工学専門家 石川文武

ストップ！農作業事故

畜産は作業上、飼料生産作業、
飼養管理作業では、畜舎
内での衛生管理が重要ですが、
ボロ出し時の転倒やベルト・
ブーリへの巻き込まれがよ
く発生しています。

床面の清掃だけでなく、
照明や換気も適切に管理す
ることが必要です。牛は大
きく重いので、牛との良好
なコミュニケーションを保
つとともに、不測の行動に
備えておく必要があります。
角で突かれたり、足で蹴ら
れたり、頭を急に振つて綱
を絡ませたりします。

予測しておけば対応でき
ますが、予測しない刺激が
牛に加わったときは思わず
拳銃をすることがあります。
牛は興奮しているので普段以
上の緊張感が必要です。飼
育頭数の増加によつて、作業時間
も増えがちですが、適正な労働力配分
を心掛けましょう。

J A グループ通信

J A グループ北海道×コンサドーレ札幌『北海道応援マツチ』特集号

JA グループ北海道×コンサドーレ札幌『北海道応援マツチ』特集号

J A 北海道信連

毎月、JAグループ北海道の連合会中央会の活動を紹介しております。平成30年9月29日には、北海道コンサドーレ札幌とのマッチで開催されました。

JAバンク北海道では、「口座開設を予約して頂いた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレオリジナルマフラーや「ちょリス」と一緒に撮影し、SNSに投稿して頂いた方」に「ちょリス・ブランケット」をプレゼントしました。

* JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じてたくさんの皆さまに食や農業の大変な活躍を伝えています。9月29日は、北海道コンサドーレ札幌と北ガガハが北海道応援道コンサドーレ札幌とのマッチで、開催されました。



J A 共済連北海道

JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交換安全を呼びかけました。また、小さいお子さんは、ひどいわぐママのおなかを的にし、ボトルを投げていただき、「楽しかったです。」とお褒めいただきました。



J A 北海道中央会

来場者に全道各地のJA特産品を550名様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンプラリー抽選会、「JA2MP」チャックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わりました。JAグループ北海道よりMVP賞が贈呈されました。



ホクレン

ホクレンは来場者先着2000人に顆粒片栗粉と一緒に「りんぱつ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の開幕式に付んづけ大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。



J A 北海道厚生連

JA北海道厚生連からは配置薬課より「野菜酵素青汁」と「草筍譜Ⅲ（入浴剤）」の配布を行い、稻本選手もブースにかけつけてくださり、多くのサポーターの皆さんに集まっていたとき大盛況となりました。



檜山農業改良普及センター檜山北部支所より 営農情報 11月号

来年に向けて圃場の準備と整備

(1) 土壌診断を実施しましょう

近年、土壌pHの低いほ場が目立ちます。土壌診断は少なくとも3~4年に1回は実施し、ほ場状態に合わせた施肥設計を行いましょう。特に、基盤整備など大規模な土壌改良を行った場合は、必ず診断を行いましょう。



表2 pH強制矯正に向けた炭カル施用量（北海道施肥ガイド2015より）

[土壌pHを0.1上げるのに必要な炭カル量 改良深10cm] (kg/10a)

腐植	腐植含量	土性		
		砂壤土	壤土	粘壤土
あり・含む	5%未満	17	25	34
富む	5~10%	25	34	42
すこぶる富む	10~20%	39	51	62

注1 火山性土の場合は普通土壌より比重が軽いため、0.8乗じた量を施用する。

(2) 反転耕起の実施 – 病原菌の密度低下のために –

病原菌は作物残さや土壌中で越冬するものがあり、次年度の感染源となることがあります。近年、発生が多いテンサイ西部萎黄病も前年の罹病残さが伝染源となります。

プラウによる反転耕起を行い、病原菌の密度低下を図りましょう。

< プラウ耕の注意点 >

作業機械の大型化に伴い、ほ場が十分に乾かない状態でのプラウ耕が散見されます。

無理な機械作業は踏圧や練り返しを引き起こし、透排水性の悪化につながります。次年度の栽培がこの秋から始まることを十分に理解し、ほ場の状況に応じたプラウ耕の実施を心掛けましょう。

< プラウ耕実施時期の目安 >

- ・秋には場が乾いている → 秋プラウ耕を検討する
- ・秋には場が湿っており、練り返しが懸念される
→ 秋のプラウ耕を見送り、翌春のプラウ耕を検討する
- ・翌年の春には場が乾かず、春プラウ耕によって練り返しが懸念される
→ チゼル耕を検討する

『畑地の透排水性改善のために』平成21年11月（北海道立中央農業試験場）より抜粋

(3) 排水路の点検

近年、局地的に集中豪雨となる頻度が高くなっています。表土の流亡等で排水路の機能が低下していないか、越冬前に暗きよの出口や明きよの点検・整備を行いましょう。

傾斜畠では、ガリー侵食防止のため溝切りを実施しましよう（図1）。

*ガリー：水の流れによって地表面が削られて出来た溝

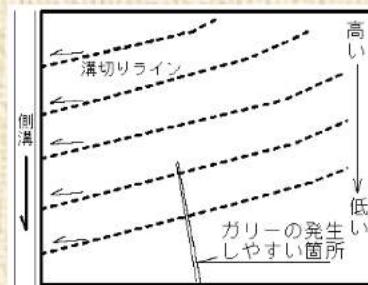


図1 溝切りの施工例

農業機械の整備と工具類や農薬の整理

(1) 点検・整備は必ずエンジンを止めてから

農業機械の保守管理は、修理費の節約と機械の耐用年数延長をもたらします。機械は格納する前に、付着した土・肥料・作物残さ等、サビの原因を丁寧に除きましょう。

特に糞尿・肥料・農薬等を散布する機械は念入りに行いましょう。

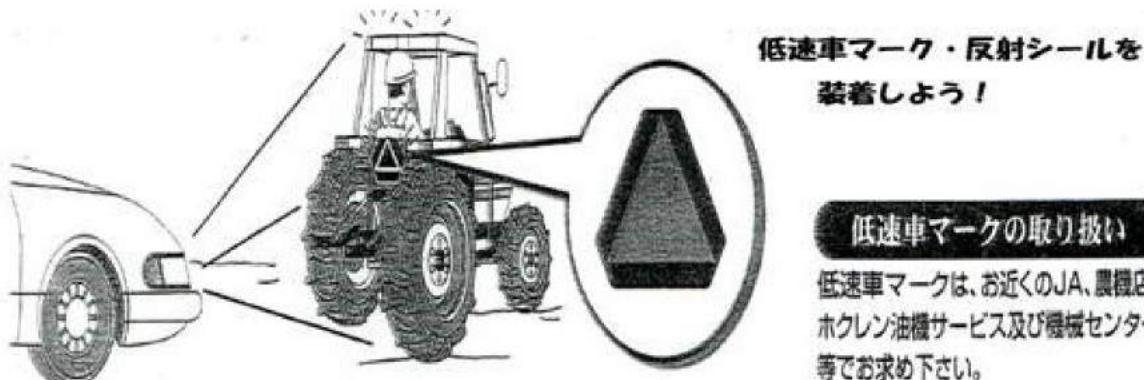
整備にあたっては、それぞれ機械の取扱説明書に従ってください。

(2) 次年度の作業効率を上げるために

工具類は、使う頻度や使用目的に合わせて分類・整理することで紛失を少なくし、整備の効率化につながります。農薬は、専用の保管庫に入れ在庫等を確認し用途別に分類するなど、翌年の作業をスムーズに行えるようにしましょう。

農作業事故防止

- ☆低速車マークや反射板・反射シールは必ず装着
- ☆トラクタの前照灯や車幅灯は早めに点灯



農閑期の健康管理に留意しましょう！

農閑期になると外仕事も減り、暖かい自宅でゆっくりと過ごす時間も増えてきます。このため運動量が減り、肥満や成人病増加のリスクが高まります。適度な運動と、食事量のコントロールで健康を維持して次年度の農作業に備えましょう。

(1) 健康診断を受けましょう。

日頃から自分の身体の点検をしておきましょう！

健診データを蓄積しておくと異常を感じたときに健康時の比較ができ治療の必要性などを判断できます。

(2) 風邪やインフルエンザに注意しましょう。

これから冬にかけてインフルエンザの流行シーズンになります。高熱や関節痛を伴い、重症化するおそれがあります。手洗い・うがい・マスクをつけるなどして予防や、蔓延防止に心がけましょう。

IMAKANE 60TH

YOUTH DIVISION



イモ、上等。

道南のちいさな町・今金でつくられ、

今や全国ブランドとしても知られるようになったジャガイモ。

それが今金男しゃくです。

後志利別川の良質な水をもとに、泥と汗水にまみれながら、

それでも真摯に育ててきたのは、高い品質とおいしさをお届けするためです。

JA今金青年部は、今年で60周年。

私たちはこれからも、イモくさく大地へと向き合っていきます。

今金オリジナル【芋ジャー】をリレー形式で回し、
コンサドーレ選手に届けよう!

#コンサドーレに芋ジャーを。

facebook
キャンペーン



01 JA今金青年部のFacebookアカウントをフォロー。

02 自分の元に【芋ジャー】が回ってきたら、それを着た写真をFacebookに投稿。

03 “自分よりコンサドーレに近い人”に【芋ジャー】を渡す。

この繰り返しで、届けコンサドーレまで!

「#コンサドーレに芋ジャーを。」もしくは「#コンサに芋ジャー」をつけてFBに投稿



受け取ったら、2日以内に次の八へ回すこと。
必ず「自分より」北海道コンサドーレ札幌に近い人へ回すこと。
回す芋ジャーは3個、参加人数上限は60名以内。
それほどにコンサドーレ選手にわたるようになります。



2018
11/1~30 金

FBI投稿
してくれた方
には

今金男しゃく
1箱
美味しい芋を
あなたに
プレゼント!



参加方法等、
詳しくはこちる

